

# 第14期開放講座 「水と街道」だより 最終回 第5回

発行：平成25年2月発行  
発行元：国土交通省中部地方整備局  
多治見砂防国道事務所  
開放講座「水と街道」事務局  
電話：0572-25-8020

## 【第5回 開催概要】

開講日時：平成25年1月17(木) 10:00~15:30

参加者：30名

内容(場所)：現場見学(「水と街道」東濃西部会活動現場)、砂防現場見学(虎溪山山腹工)、地域づくり団体交流会、閉講式

## 地域づくり活動現場見学(「水と街道」東濃西部会 -多治見市-)

当講座OBによる地域づくり団体で、多治見市の生田川の遊歩道の整備をしている「水と街道」東濃西部会の活動現場を見学しました。

この現場は、竹・立木の伐採、除草活動を実施することにより「地域住民の憩いの場」として整備されているところです。

この日は、冷え込みの厳しい一日でしたが、佐藤会長の熱のこもった説明にみなさん聞き入っていました。



## 砂防現場見学(虎溪山山腹工 -多治見市-)

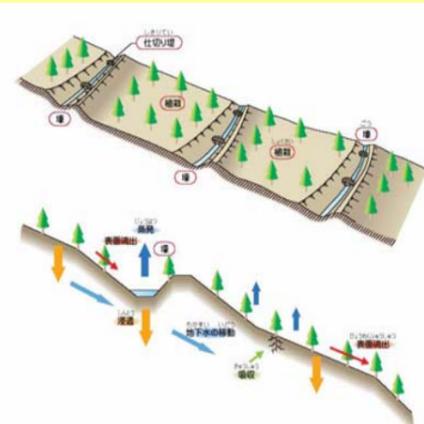
次に多治見市の虎溪山にあります「虎溪山山腹工」の砂防現場を見学しました。当該箇所は、「等高線濠工法」という工法で、昭和27年に日本で初めて採用されました。現在は広葉樹の緑豊かな樹林となっています。会員さんからは「自然を配慮していて良い」などの感想を頂きました。



(説明をする出張所長)

### 「等高線濠工法」

等高線状に濠(溝)を掘り、降雨をできるだけ多く山腹に滞留・吸収させ植物の生長を促すとともに、急激な雨水の表面流出を防ぐ工法です。



## ＝第14期開放講座「水と街道」の閉講にあたり参加者のみなさまへ＝

この度は、当事務所が主催する開放講座「水と街道」にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。至らない点も多々あったかと思いますが、無事全5回を終了することができたのも、皆様のご協力のおかげと、スタッフ一同大変感謝しております。今回の講座で、皆様からいただいた貴重なご意見、ご感想を今後の講座に活かし、より質の高い開放講座「水と街道」にできるよう努めるとともに、当事務所の事業執行にも活かしてまいります。

末筆ではございますが、皆様が「健康」で「生き生き」と、地域でご活躍されることを祈念しております。またお会いしましょう!!

(開放講座「水と街道」スタッフ一同)

## 地域づくり団体交流会(各市民団体のボランティア活動紹介)

昼食後、当講座OBが中心となって活動している「地域づくり5団体」との交流会が行われました。各団体それぞれが地域で実施している里山づくり、防災活動、河川などの環境美化活動などの紹介に、会員の皆さんも熱心に耳を傾けていました。

今回ご紹介させていただいた団体以外にも、各地域で様々な団体が活動されています。みなさんも開放講座「水と街道」の受講を機に、地域のためのボランティア活動に参加されてみては、いかがでしょうか。



### 開放講座「水と街道」OB団体

- 「水と街道」東濃会
- 「水と街道」東濃西部会
- 「水と街道」虎溪山の里山づくり
- 「水と街道」え～な～会
- 小里川ダム里山教室

## 閉講式(修了証書授与式)

最後に、閉講式が行われました。

修了証書授与式では、事務所長より会員の皆さん30名、一人一人に修了証書が手渡されました。本講座で得た知識や経験が、皆さんの今後の地域におけるボランティア活動などに少しでもお役に立てれば、と思います。



(伊藤事務所長から修了証書を受け取る会員さん)